

# 高倉だより



学校評価特集号

平成20年7月1日

京都市立高倉小学校

学校評価は、学校・家庭・地域が相互に高め合い、よりよい学校作りを行うことを目指しています。

学校評価は、教職員による自己評価、児童による評価、保護者・地域のみなさん等学校関係者による評価、学校運営協議会「スマイル21プラン委員会」での評価からなります。この「評価は」、教職員・児童・保護者・地域の方々が、自らの行動を振り返る機会でもあります。「評価」を通して、よりよい学校づくりや子育ての課題を共有し合い、学校・家庭・地域が相互に高め合うことを目指しています。

評価年間計画（裏面参照）

## 自分から進んであいさつする子どもに ～日曜参観アンケートの結果より～

先日行われた日曜参観で、「思いやりのあるやさしい子」「進んで学ぶ子」「健やかでたくましい子」「あいさつのできる子」に関するアンケートを保護者の方に実施して頂きました。結果は下の表の通りです。アンケート項目全般に「よくできている」「大体できている」の割合が高く、多くの児童が、友達と楽しく関わりながら、いきいきと学習に取り組んでいることが分かります。一方、課題としては、以前から指摘されてきたことですが、子どもたちの学校でのあいさつが不十分であることです。毎朝、声かけ運動をしてくださっているお母さんからも、「おはよう」と声をかけているのに、何も言わないで通り過ぎる子どもがいて、すごく寂しい気持ちになるとの声も聞かれています。

不審者による事件が多発する今日このごろ、自分が知っている人や学校等の安全な場所では、自分から「おはよう」「こんにちは」「ありがとう」と言える子どもに育てていきたいものです。自分からあいさつができることは、人とのコミュニケーションをスムーズにしたり、自分の思いを素直に表現したりすることにつながります。また、ほとんどの保護者の方があいさつはたいへん重要であると考えていること、しかし、地域の人と子どもが交流する機会や場の利用が不十分であることも分かります。そこで、今年度は、学校・家庭・地域が協働して、「スマイル21プラン委員会」と共に、「あいさつ」について重点的に取り組んでいきたいと考えています。みんなで、自分からあいさつのできる子どもを育てていきましょう。

## 日曜参観アンケート

6年生 6月1日(日)実施  
1～5年生 6月8日(日)実施

よくできている 大体できている あまりできていない できていない わからない

